

膠原病内科

ごあいさつ

膠原病とは、自己免疫が共通する病態ですが、病因や病態は完全に解明されておらず、多くは難治性で、多臓器にわたる多彩な症状を呈します。

膠原病診療においては、高度に専門的な医療が提供できるよう、内科における各専門科だけでなく、整形外科、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科など、各診療科との緊密な連携を図る必要があります。膠原病の中には、必ずしも典型的な症状を呈さず、原因不明の発熱や、筋・骨格系の異常を示す症例もありますので、疑わしい場合はご遠慮なくご紹介(ご相談)ください。

主な診療領域

関節リウマチをはじめとして、全身性エリテマトーデス、強皮症、血管炎症候群、皮膚筋炎・多発性筋炎、シェーグレン症候群、ベーチェット病、強直性脊椎炎、成人スチル病などの特定疾患を中心に幅広く免疫・炎症性疾患を診療しております。

診療科の特徴

産業医科大学第一内科の田中良哉教授ご協力の下、7名の医師(うち非常勤医師6名)で診療を行っており、質の高い医療を提供しています。関節リウマチに対する生物学的製剤の登場は患者さんの日常生活の改善に大きな影響を与えましたが、現存する生物学的製剤のうち、どの薬剤を選択するのが個々の患者さんに最も適切であるかなどに関して、産業医科大学との連携により有効性、安全性を確認しつつ導入するシステムを構築しています。

〈膠原病内科医師〉



神田 龍一郎

かんだ りゅういちろう

平成27年卒